

第24回

気象サイエンスカフェ in 名古屋 Zoom

日時：2023年2月26日（日）
午後1時から2時30分まで
（ZOOMを利用しての開催）

講師：今井 道夫先生
（帝京大学理工学部 航空宇宙工学科 教授）



略歴：農林水産航空協会 防衛庁（当時）委託民間操縦訓練生
ヘリコプター運航会社の操縦士として43年間勤務
事業用操縦士、計器飛行証明、操縦教育証明（回転翼航空機）取得
ヘリコプターの飛行時間は11、400時間 6機種に乗務
通常の飛行業務のほか、操縦士の訓練、審査業務を担当
現在、帝京大学理工学部 航空宇宙工学科 ヘリコプター・パイロット・コース 教授



テーマ

気象とヘリコプターの運航

要旨：航空機が飛行する大気では様々な気象現象が発生しています。その気象現象は航空機の性能や運航そのものの可否を左右する等大きな影響を及ぼしています。また、航空機の運航で最も重要な安全を確保するために確認しなければならない要素となっています。

航空機の中でも対流圏下層を飛行するヘリコプターは気象現象の影響を受けやすく、飛行する場所も気象観測が行われている空港からではなく人里離れた山間部での飛行が多くなっています。

今回はヘリコプターの運航を中心に航空機の飛行方式と気象状態、気象情報の取得、高度計、速度計などの航空計器、各気象要素がどのように利用されているのかについてご紹介いただきます。



定員：80名（先着順）

参加費：無料

申込方法：メールにて、s_cafe_nagoya@yahoo.co.jp 日本気象予報士会東海支部 加藤あて。件名を「気象サイエンスカフェ参加希望」とし、本文に住所、氏名、所属（気象予報士会会員、大学生、自治体、会社員等）メールアドレスを記載の上、個人ごとにお申し込み下さい。

ZOOMでの参加方法は、申し込み受付後にご案内します。

（申込時に記載された個人情報はサイエンスカフェ参加の連絡以外では使用しません）

主催 （公社）日本気象学会中部支部 、 （一社）日本気象予報士会東海支部